

# 温 篤 新聞

通巻192号



## 『天下分け目の国政選挙!!』

昨春秋…、裏金問題に揺れる  
中に行われた衆議院選挙。

政権与党である自民・公明党  
の過半数割れや、国民民主党の

躍進など政治における歴史的な  
転換点となり得る結果を残し、

国民の期待が膨らみましたが、  
手取りを増やす政策も、所得税

も基礎控除拡充がわずか…、ガ  
ソリン税の暫定税率の廃止も先

延ばし…、結局我々の生活負担  
は増すばかりで、何の改善もな

いまま半年が過ぎようとしてお  
ります。

そして今年の夏、7月には参  
議院選挙が行われます。

一旦はコメ問題に注目が集まり  
ましたが、やはり国民の世論は、  
増税か減税かが争点になるのでは  
ないでしょうか。

形の違いはあれど現在野党全て  
が消費税の減税及び廃止を訴えて  
いますが、国政選挙の今までの政

策を見てみると、自民党の現政権  
は増税志向が強く、現金給付を今

実行せず目の前の人參をチラつか  
せるだけ、おそらく選挙後に増税

を目論んでいる事でしょう。立憲  
民主党は党内の強い減税派の離党

を避けるため限定的な減税を訴え  
ています。その後はなんといつて

も党首がミスター消費税ですか

## 医食同源 山椒

胃腸など消化器系を温める作用があり、身体の内側から全体を温めてくれます。また体内の水分の循環を良くして、体の冷えや痛み、むくみなどを改善してくれます。

食べ物の解毒作用や寄生虫の殺菌作用もあり、回虫駆除に効果があります。芳香があり、食欲を増進し、魚の生臭さを除き、消化を促進してくれます。



## 今月のツボ

### 肩髀(けんぐう)

「髀」は骨のすみ・先端を意味しています。つまりこのツボ名は、肩の先端のすみに位置するツボである事を表しています。

場所は、腕を真横に上げ、その状態から肩の先端、腕の付け根のあたりを



探ると窪んでいる所が見つかります。その窪みに取ります。

慢性関節リウマチ、五十肩、肩こり、首から肩にかけての症状、腰痛などの治療に用いられます。その他、尋麻疹や湿疹などに対しても用いられます。

ら、自民党と組んで増税してくるのではないかと。維新の会は柱が身を削る緊縮財政ですから本格的な減税は期待薄でしょう。国民民主党は時限的な減税ですし、元は増税した民主党からの分裂ですから本当の所はどうなのでしょう。

他には、共産党の柱は格差の是正ですし、れいわ新撰組も弱者の支援に力を入れていきますし、参政党は国民負担率を35%を上限に掲げていますから、減税や消費税の廃止には積極的です。

しかし、これら3党の国家観において違いがあり、日本を日本らしく、日本を日本人らしく、日本を日本文化のある国作りを強く提唱しているのは、参政党だけです。

参政党が正しいというつもりはありません。ただ昨今の生活から地域の住民は外国人がどんどん増え、旅行に行ってもどこも外国人ばかりです。これ以上外国人が増え、半分以上が外国

人となった時に多数決を取っても、おそらく日本らしい行事や風習に対する提案は通らなくなるでしょう。

観光地も外国資本ばかりで、外国人には安くて楽しい場所でも、日本人には高くてつまらない場所となる事でしょう。

最近では森林や水源地までも外国資本に買収され始め、もしかしたら安心・安全な水が飲めない時が来るかもしれません。

今まで通り大企業や業界団体との利権と癒着による政治に賛成の意見があっても良いと思います。しかし、一部の利益の為の政治に反対の方も、ぜひ夏の参議院選挙に行つて、自分たちの未来は自分たちで作らしましょう。

政治は無関心  
でいられても無  
関係ではいられ  
ないのですから。



## 二十四節気と七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

その抛り所となったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらはだいたい五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前が付けられています。

### 二十四節気

## 大暑

（7月22日）

文字通り、一年でいちばん暑さの厳しく感じられる頃になります。ウナギで知られる「土用の丑」も、この期間にありますし、「暑気払い」と称してのビアガーデンなどでの集いも、ひときわ賑やかになる時節です。

### 『自己イメージを考える』

私たちは普段、心の中に、自分で作った様々なイメージを持ち、そのイメージに影響されて生きています。ところがその多くは、鏡に映った姿から自分の形をイメージするように、周りの人から評価された姿が、自分のイメージになっています。それでは、他人によって作られた思い込みのイメージしか持っていないといえます。

私たちは、他人にどう見られるかが気になって、自分の思いを抑えて、表面的に他人に合わせるしてしまう事が意外に多いようです。自分が悪く見られたくない、良く見られたい、と考え過ぎる事によつて、私たちは随分と無駄なエネルギーを費やしているのではないのでしょうか。本当の自分を考えるためにエネルギーを使いましょう。

「一日一話」より



七十二候（7月28日～8月1日頃）

## 土潤溽暑（つちうるおつてむしあつし）

地面からは陽炎が立ち上がり、土いきれで吸う息も熱く感じられます。

この暑さを人間は冷たいもので暑気払いをしたり、行水や打ち水でやり過ぎすしかありませんが、木や草花はますます緑を濃くし、枝を伸ばして葉を広げて夏を謳歌するかのようです。

田畑では太陽の恵みを享受した作物が実りの秋に向けて育っていきま



### 季節のはな

## 白粉花（おしろいばな）

南米原産で日本には江戸時代に渡来されました。黒い種の中は、白い粉状で、少女たちがおしろい代わりにして遊んだことから、その名前が付けました。

花の色は濃いピンクか白色、黄色、または絞模様になります。

夕方に関き始め、翌朝にはしぼんでしまう事から、別名夕化粧とも呼ばれます。

英語ではfour o'clock、中国語では煮飯花などと書かれたりします。

株によつては涼しくなるにつれ開花時間が早まる事もあるようで、盛夏にはあまり見かけず、晩夏になって目立つ気がするの、そのせいかもしれせん。

花言葉は「私は恋を疑う」です。



### 執筆余話

つつい政治を熱く語ってしまいました、私の住む常総市の学校では3分の1程が外国人になってきています。その方々は日本語が不自由なので、学校役員にはなれません。息子のサッカー部では半分が外国人です。土浦一高では部活中は日本語禁止という提案も出ているそうです。日本人も英語を話せるべきだと思いますが、それは英語教育の問題であつて、禁止するのは別問題のように思います。

今まで政治を語るのタブーで、専門家に任せるものとし、学校教育でも積極的に触れず無関心化を生み、その結果が今の既得権益による政治家の為の政治になりました。

本来国民のための政治だったはずですが、これからは誰もが関心を持てるよう、自分の未来を語るよう、住み良い日本になるよう、勇気を持って語らせて頂きました。

## 7月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

